



# 第66期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

## ○ 株主の皆様へ



### Contents

株主の皆様へ	1
セグメント別の概況	3
トピックス	5
連結財務ハイライト	6
連結財務データ	7
株式の状況	9
会社の概要	10

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第66期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

### 【当期は官需市場の減少を民需市場の売上によってカバーするよう努めました】

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、民需市場は、設備向け監視システムへの投資や感染症に対する予防対策の需要が国内外で見られ、スマートフォン等の小型携帯端末が引き続き堅調に推移したものの、年明け以降その成長に鈍化の兆しが現れました。また、官需市場は、国内調達が増加する動きが見られるなど、低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、国内外の販売店との連携強化や展示会への出展を積極的に推進するとともに、新製品を投入し売上拡大に努めました。

平成28年6月  
代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

### 【売上高は減少したものの、営業利益、経常利益は改善しました】

当期の連結業績につきましては、計測事業を譲渡したことや情報システムが減少したことから売上高は減少となりました。しかし、損益は、売上高は減少したものの原価低減、費用削減に努めたことなどから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が、次のとおり改善となりました。

#### 【当期連結業績】

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
当期 (前期比)	22,920 (10.8%減少)	574 (90百万円増加)	479 (49百万円増加)	115 (5億37百万円増加)

剰余金の配当につきましては、当期純利益を計上したものの、なお累積損失が存在することから、まことに遺憾ながら普通株式、第1種優先株式および第2種優先株式は無配とさせていただきます。

### 【顧客価値創造の推進、技術基盤の強化により民需事業の更なる成長に取り組んでまいります】

当社を取り巻く環境は、堅調な企業業績による設備投資の増加が想定されるものの、中国を中心とした新興国経済の成長鈍化に伴う輸出の伸び悩みなどにより不透明な状況になると思われます。

このような状況の中で、当社グループは、QCD（品質・コスト・納期）の改善、顧客価値創造の推進、技術基盤の強化を行い、防衛宇宙製品を担う情報システム事業を基盤事業として堅持しながら、特長ある民需事業を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

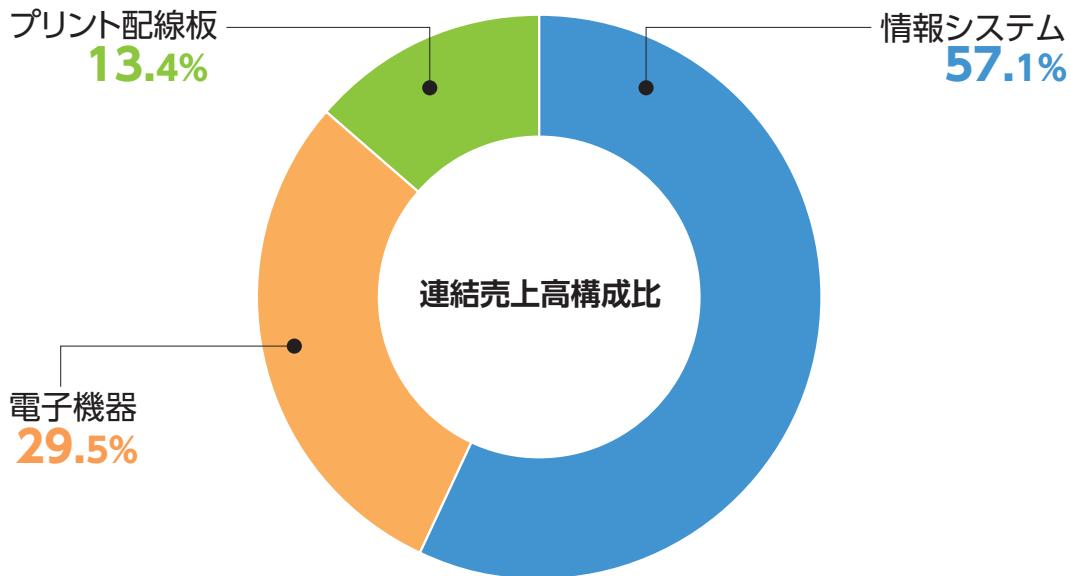
#### 【次期連結業績予想\*】

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
次期業績予想 (前期比)	22,500 (1.8%減少)	400 (30.3%減少)	300 (37.4%減少)	150 (30.4%増加)

※業績予想の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

# ○ セグメント別の概況



## 情報システム

連結売上高

**130億88百万円**

(前期比13.8%減少)



—官需市場で国内調達が減少している影響を受け、売上高は減少しました。

セグメント利益

**4億44百万円**

(前期比1億73百万円減少)



—売上減の影響により、減少しました。



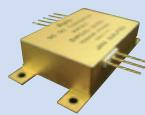
指揮・統制装置



表示・音響装置



電波応用装置

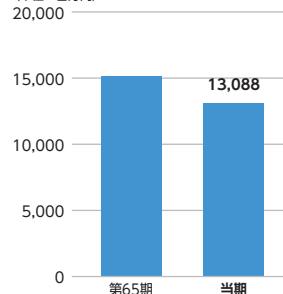


ハイブリッドIC

主要製品：誘導・搭載関連装置、表示・音響関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC

## 情報システム連結売上高推移

(単位：百万円)



## 電子機器

連結売上高

**67億57百万円**  
(前期比6.7%減少)



— 赤外線機器では、感染症対策・設備監視市場向けシステムが増加し、接合機器では全自動真空シーム封止装置が好調でしたが、年明け後の需要低迷や計測事業譲渡により全体としては減少しました。

セグメント利益

**3億22百万円**  
(前期比3億12百万円改善)



— 原価低減等に努めた結果、大幅に改善しました。



インバータ式抵抗溶接機  
&水平加圧ヘッド



ファイバーレーザー溶接機&  
ガルバノスキャナシステム



InfReC



InfReC

R500EXシリーズ

主要製品：接合機器、赤外線機器

### 電子機器連結売上高推移

(単位：百万円)



## プリント配線板

連結売上高

**30億74百万円**  
(前期比5.7%減少)



— 高信頼性基板市場および半導体検査装置市場が低調であったことから、減少しました。

セグメント損失

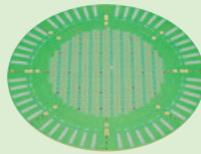
**1億91百万円**  
(前期比48百万円減少)



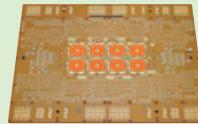
— 売上減の影響により悪化しました。



高信頼性フレックスリジッド配線板



半導体プローブカード



半導体テストボード

主要製品：プリント配線板

### プリント配線板連結売上高推移

(単位：百万円)



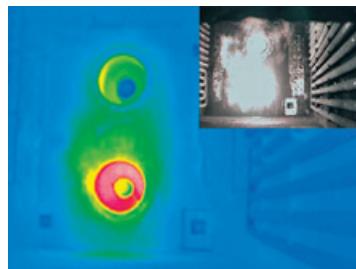
### ■InfReC R300BP-TFの販売を開始！

本製品は幅広い赤外線を捉えることができる国産非冷却センサと炎越しフィルタを組合せることにより、石炭火力炉や石油精製炉内壁面の付着物、パイプの劣化状況、バーナーの動作状況等を火炎越しでも鮮明に、かつ安全に撮影することができます。

また、冷却型センサを搭載した従来の炎越しモデルと比較して、大幅な低価格化とメンテナンスフリーを実現。センサ冷却機の交換が不要なため寿命を気にせず使用でき、保守費用も大幅に低減できます。



防護シールドで測定者を輻射熱から守りながら撮影可能です



炎越しでもバーナーの温度分布を確認できます

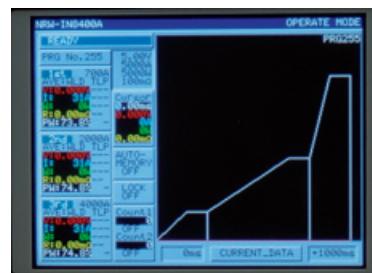
### ■インバータ式抵抗溶接機／水平加圧ヘッド NRW-IN8400A/NA-184 の販売を開始！

本インバータ式抵抗溶接機および水平加圧ヘッドはエコカーの需要増や高機能化に伴い、需要が増加しているモータや、ECU\*1、センサ等の組立に最適な接合ソリューションを提案いたします。

インバータ式抵抗溶接機は高精度な制御により接続部の信頼性を高め、水平加圧ヘッドは独自の加圧追従方式\*2の採用で被接合品の変形量のバラツキを減らし、より安定した生産を実現いたします。



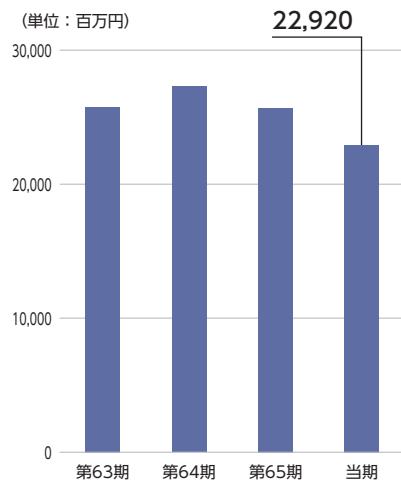
水平加圧ヘッドNA-184 (左) と抵抗溶接機NRW-IN8400A (右) 5.7インチ液晶により簡単操作、溶接結果の確認が可能です



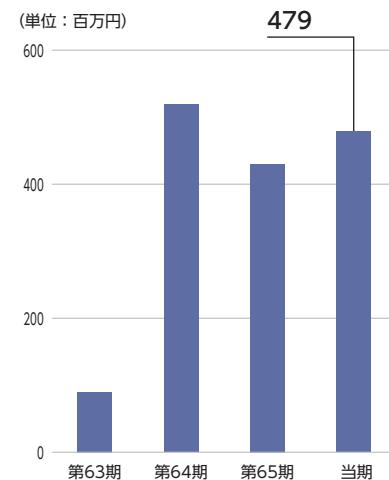
\*1 ECU…Engine Control Unitの略で、自動車等のエンジンを制御する装置を指します。

\*2 加圧追従方式…スプリングを用い、常に一定の圧力での接合を可能とする仕組みを指します。

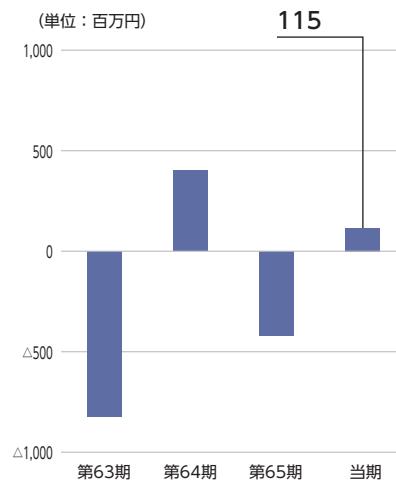
売上高推移



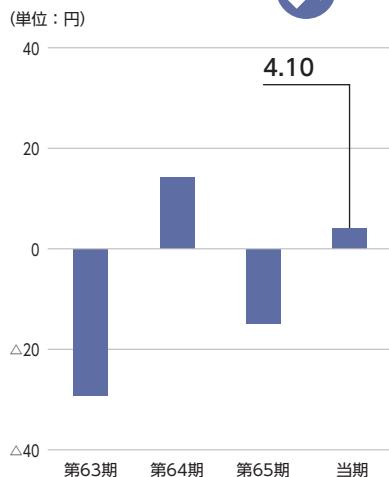
経常損益推移



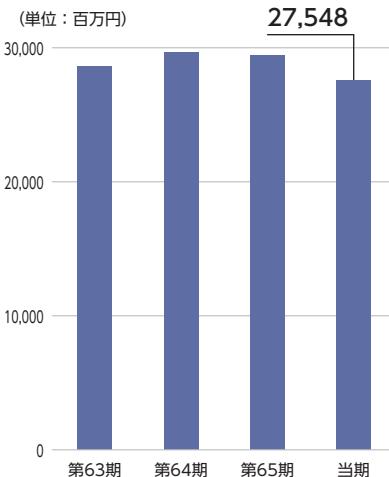
親会社株主に帰属する  
当期純損益推移



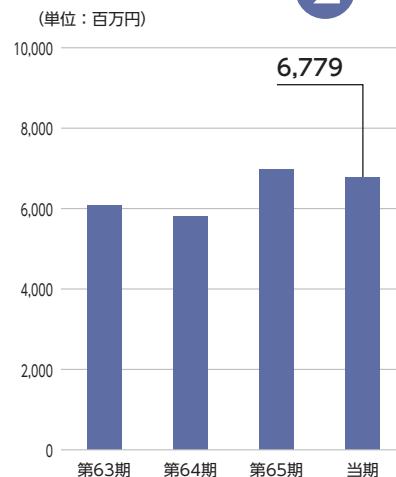
1株当たり当期純損益推移



総資産推移

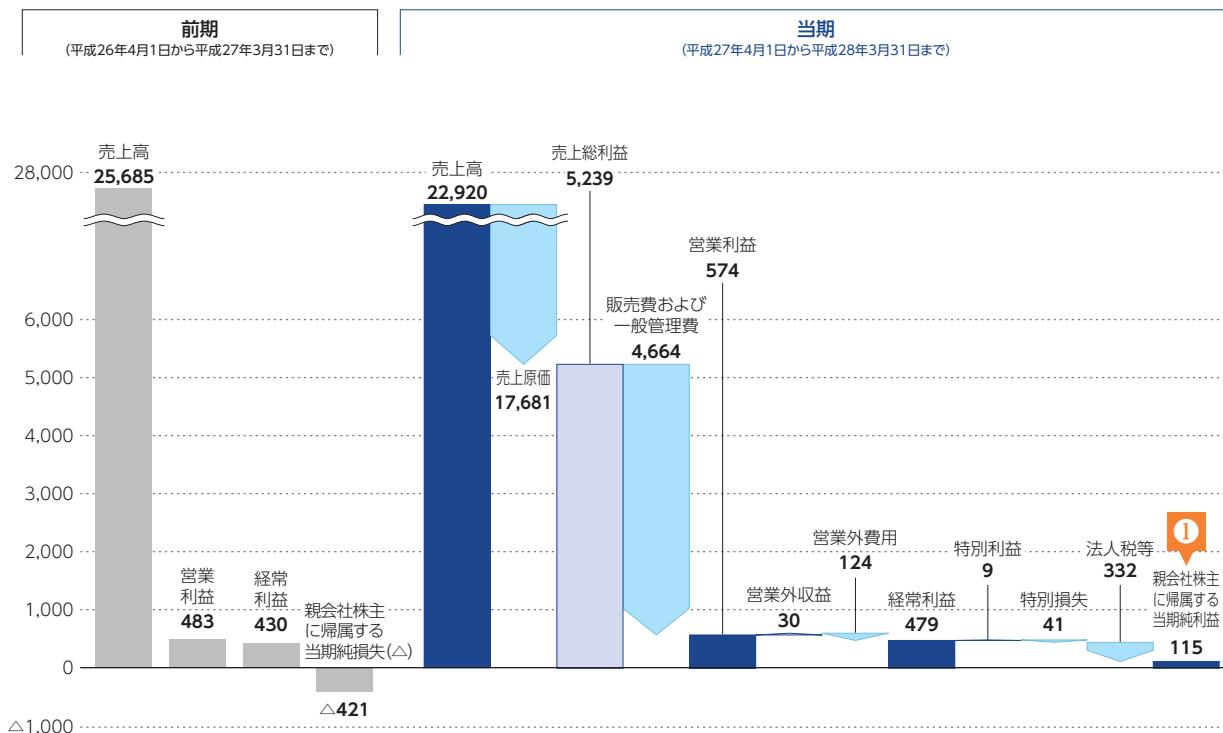


純資産推移



# ○ 連結財務データ

## 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



### POINT

#### ① 親会社株主に帰属する当期純利益

法人税率の見直し等による繰延税金資産の取崩し3億3百万円を含む法人税等を計上したものの特別損失が大きく減少したため、前期比5億37百万円改善の1億15百万円となりました。

#### ② 資産合計

受取手形および売掛金の減少等により、前期比19億19百万円減少の275億48百万円となりました。

#### ③ 負債・純資産合計

負債合計は支払手形および買掛金の減少等により、前期比17億28百万円減少の207億68百万円となりました。また、純資産合計は親会社株主に帰属する当期純利益を計上したものの、退職給付に係る調整累計額等のその他の包括利益累計額が減少したことから、前期比1億90百万円減少の67億79百万円となりました。

#### ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務は減少したものの、減価償却費の計上および売上債権の減少等により、営業活動の結果獲得した資金は、1億24百万円となりました。

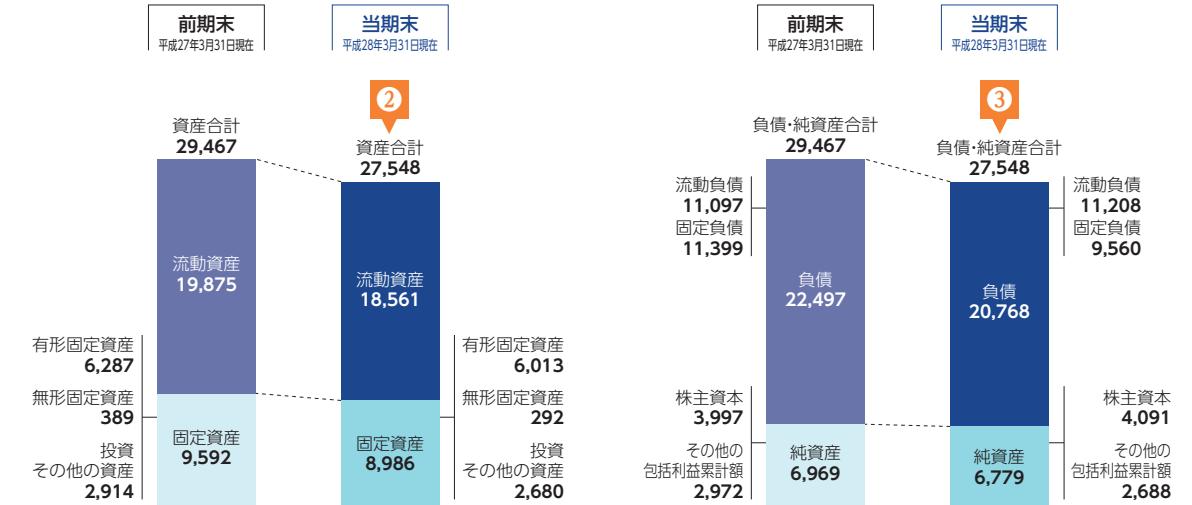
#### ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産取得による支出等により、投資活動の結果使用した資金は、2億25百万円となりました。

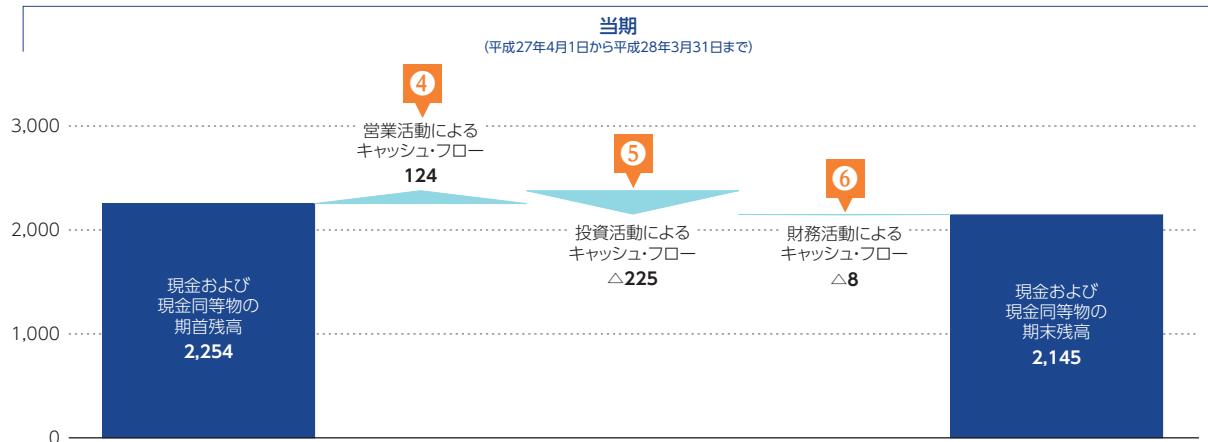
#### ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に借入金の返済による支出等により、財務活動の結果使用した資金は、8百万円となりました。

## 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



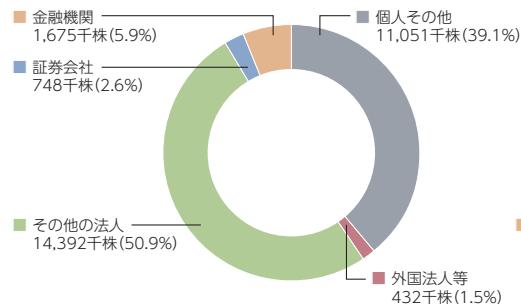
	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式の総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,611名	1名	1名

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

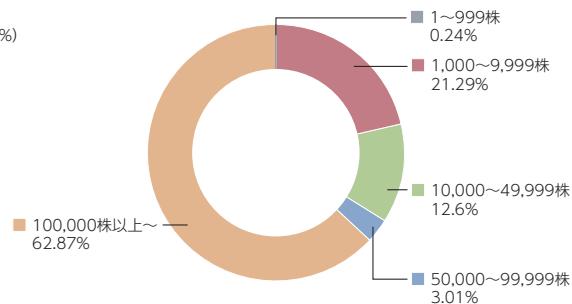
(4) 大株主の状況 (普通株式上位10名)

株主名	所有株式数 千株	持株比率 %
日本電気株式会社	14,151	50.00
株式会社三井住友銀行	441	1.56
日本アビオニクス従業員持株会	400	1.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	255	0.90
三井住友信託銀行株式会社	249	0.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	225	0.80
住友生命保険相互会社	218	0.77
松井証券株式会社	187	0.66
伊藤 豊	180	0.64
三井住友海上火災保険株式会社	161	0.57

(5) 所有者別分布の状況 (普通株式)



(6) 所有株数別の状況 (普通株式)



## 会社の概況 (平成28年3月31日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 1,014名 (連結) 752名 (単独)
- 証券コード 6946
- 営業所および工場

本社 東京都品川区西五反田八丁目1番5号  
 横浜事業所 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2  
 新横浜事業所 神奈川県横浜市都筑区池辺町4206番地  
 府中支店 東京都府中市府中町一丁目10番地の3  
 中部支店 名古屋市中区丸の内三丁目17番6号  
 西日本支店 大阪市淀川区西中島一丁目11番16号  
 熊谷営業所 埼玉県熊谷市筑波三丁目4

## 子会社 (平成28年3月31日現在)

- 山梨アビオニクス株式会社  
山梨県南アルプス市宮沢568番地
- 福島アビオニクス株式会社  
福島県郡山市待池台一丁目20番地

## 役員 の 状 況 (平成28年6月24日現在)

### 取締役

代表取締役	秋津勝彦
取締役	新井孝男
取締役	土川稔
取締役	延岡健太郎
取締役	望月愛子
取締役	伊藤茂樹
取締役	松本康子

(注) 1. 延岡健太郎、望月愛子の両氏は社外取締役であります。  
 2. 伊藤茂樹、松本康子の両氏は業務執行を行わない取締役であります。

### 監査役

監査役 (常勤)	鈴木智雄
監査役 (常勤)	篠田亨
監査役	関澤裕之
監査役	千原真衣子

(注) 鈴木智雄、篠田亨、千原真衣子の各氏は、社外監査役であります。

### 執行役員

執行役員社長	秋津勝彦 ※
執行役員常務	井川裕三
執行役員常務	上田勇
執行役員	露木満
執行役員	新井孝男 ※
執行役員	土川稔 ※
執行役員	木内一雄
執行役員	橋本隆
執行役員	竹内正人
執行役員	山後宏幸

(注) ※の執行役員は取締役を兼務しております。

## 株 主 メ モ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先)  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.avio.co.jp/company/index.htm>  
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

## 当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等をご覧いただけます。

<http://www.avio.co.jp/>

日本アビオ

検索



### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様  
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様  
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。

 日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号  
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp/>

 UD  
FONT

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

 VEGETABLE  
OIL INK